



〔技術監修〕
植月 英貴
トヨタホーム
アフターサービス
担当DIYアドバイザー

※機種によって部品の取り付け位置、取り外し方、お手入れの手順等が異なります。お手入れの前にお手持ちの取扱説明書を必ずお読みください。



トイレ

耐用年数

・10～15年程度

セルフ点検項目（1回/4ヶ月）

- 電源プラグにホコリがたまっていないか
- リモコン電池残量が少なくないか
- 便座が問題なく自動開閉するか（自動の場合のみ）
- 便器の洗浄タンクや洗浄ハンドルの戻りに不具合、ガタツキはないか
- 便器本体や便座にヒビや割れがないか、ゴム足が外れていないか
- 電源プラグ・コードに異臭・異音・傷がないか
- 水漏れがないか
- 便座が異常に熱いときや冷たいときがないか

修理・交換のサインです。お近くのトヨタホーム店にご相談ください

※異常がある状態で使用を続けると火災や感電、室内浸水の原因になります

お手入れ方法

●ストレーナー（フィルター）のお手入れ（1回/年）

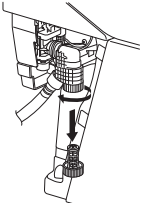
〈LIXILサティスSの場合〉

- 止水栓を閉め、便器洗浄の水が流れないことを確認する
- リモコンの電源を「切」にし、本体表示部の「電源ランプ」が消灯したことを確認する

3

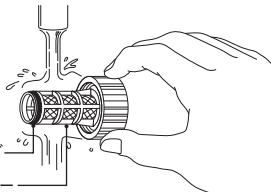
サイドカバーを外し、
ストレーナーを取り外す

※取り外すときは少量の水が出るので、
コップなどで受けてください。



4

ストレーナーやOリング部分を
流水で洗い、付着したゴミは
歯ブラシで取り除く



- ストレーナーを装着後、サイドカバーを取り付ける
- 電源を「入」にし、本体表示部の「電源ランプ」が点灯していることを確認する
- 止水栓を開けて止水栓から水漏れがないことを確認する

便器や床などの「ふだんのお手入れ」はこまめに行いましょう。
お手入れ方法はコチラ



給湯器

耐用年数

・8～10年程度



セルフ点検項目（1回/4ヶ月）

- 給湯器本体や排気口の周りに物を置いていたり、
落ち葉などが積もっていないか
※排気口からの可燃物離隔距離：600mm以上
- 排気口や給気口がホコリでふさがっていないか
- 排気口にススがついていないか
- 運転中の給湯器から異臭・異音がないか
- 給湯器外装に焼けたようなあとや、穴が開いていないか
- 給湯器本体や配管から水漏れしていないか
（給湯器の周りが常に濡れていないか）
- お湯の温度が安定しているか
- お風呂の追い焚きができるか

修理・交換のサインです。
お近くのトヨタホーム店にご相談ください

お手入れ方法

※お手入れの際には必ず電源プラグを抜き、ガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
※電源プラグは濡れた手で触らない。感電の原因となります。

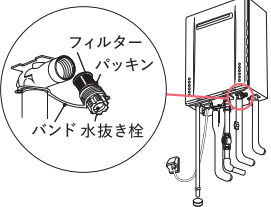
●外装のお手入れ（1回/月）

- 水気をかたく絞ったやわらかい布に台所用中性洗剤を含ませて
汚れを落とす
- 乾いた布で洗剤と水気を十分にふき取る

●水抜き栓フィルターのお手入れ（1回/月）

※お手入れ後、最初の使用時に空気を含んだ水（お湯）が勢いよく出ることがありますのでご注意ください。

- 給水元栓を閉め、すべての給湯栓（シャワーを含む）を開ける
※配管カバーを設置している場合は、フロントカバーを取り外してください。
- 水抜き栓を取り外し、流水で洗い、
フィルター部分に付着したゴミは
歯ブラシで取り除く
※取り外すときは水（お湯）が出るので
コップなどで受けてください。
※パッキンをなくさないようご注意ください。
- 元通りに水抜き栓を取り付け、
すべての給湯栓（シャワーを含む）を閉める
- 給水元栓を開け、水抜き栓周辺に水漏れがないことを確認する
※配管カバーを設置している場合は、フロントカバーを取り付けてください。



ふろの配管・循環口フィルターのお手入れも必要です。
お手入れ方法はコチラ



エコキュート

耐用年数

・ヒートポンプユニット：5～15年程度
・貯湯ユニット：10～15年程度



セルフ点検項目（1回/4ヶ月）

- エコキュート本体の周りに物を置いていないか
- 逃がし弁・漏電ブレーカーが正常に作動するか
- 運転音に異常がないか
（モーター音が大きい・爆発音のような音）
- エラーコードがたびたび出ていないか
- お湯が出ないときがないか

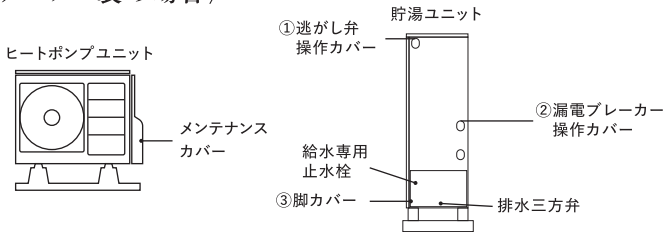
修理・交換のサインです。
お近くのトヨタホーム店にご相談ください

お手入れ方法

※排水時は熱湯が出ることがあるので、お湯に触らない。やけどの原因となります。※漏電ブレーカーは、
濡れた手でさわらない。感電の原因となります。

●貯湯ユニット内の排水（1回/4ヶ月）

〈デンソー製の場合〉



- 貯湯ユニットのカバー（①②③）とヒートポンプユニットの
カバーをはずす
※ヒートポンプユニットのメンテナンスカバーのツメをはずすときは、
ツメを破損しないようご注意ください。
- 漏電ブレーカーの電源レバーを「OFF」にする
- 給水専用止水栓を閉じ、逃がし弁のレバーを開く
- 排水三方弁を排水側（右）に回す。
※貯湯ユニット内のお湯が排水されます。
汚れがなくなるまで、1～2分間排水してください。
排水三方弁を通常側（閉）にする
- お手入れが終わったら、貯湯ユニットを満水にしてエア抜きをする



貯湯ユニットを満水にしてエア抜きをする方法はコチラ
逃がし弁・漏電ブレーカーの点検方法も紹介しています。

